

平成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人するが企画観光局

(イ) 法人の概況

i 設立年月日

平成 7 年 9 月 28 日 「財団法人静岡コンベンションビューロー」設立
平成 19 年 4 月 1 日 静岡市観光協会と統合し、「財団法人静岡観光コンベンション協会」
に名称変更
平成 25 年 4 月 1 日 「公益財団法人静岡観光コンベンション協会」へ移行
平成 29 年 10 月 1 日 「公益財団法人するが企画観光局」に名称変更

ii 定款に定める目的

この法人は、静岡県中部・志太榛原地域の文化的、社会的、経済的特性等を活用し、観光関連産業の振興と交流人口拡大による地域経済の活性化を促進するとともに、国際的な相互理解の増進、文化の向上及び豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与することを目的とする。

iii 定款に定める事業内容（公益目的事業、収益事業等）

- (1) 地域ブランドの価値向上に向けた地域戦略の策定及び周知
- (2) 国内外へのプロモーションの実施
- (3) 地域内の周遊促進と受入環境の整備
- (4) 観光関連サービスや地域産品等の企画開発及びその支援
- (5) 観光客及び MICE の誘致及び支援に関する事業
- (6) 観光施設等の管理運営及び地域産品等の販売
- (7) 旅行業法に基づく旅行業
- (8) その他この法人の目的達成に必要な事業

iv 会員の状況

種 類	前年度末	当年度末	増 減
賛助会員	470	481	11

v 主たる事務所・従たる事務所の状況

名 称	所 在 地	所管区域・事業内容など
静岡事務所 (本部)	静岡市葵区追手町 4 番 16 号 静岡市青葉会議棟 1F ※平成 30 年 6 月末、下記に移転予定 静岡市葵区日出町 1 番地の 2 TOKAI 日出町ビル 9F	DMO 推進事業 (静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、 牧之原市、吉田町、川根本町) MICE 推進事業 (静岡市、島田市、焼津市、藤枝市) 着地型観光事業 (静岡市) 収益事業、総務 (法人運営)
清水事務所	静岡市清水区辻 1 丁目 1 番 3-103 号 アトラス清水駅前 1F	観光振興事業 (主に静岡市清水区) 収益事業

※従たる事務所はなし

vi 役員等に関する事項

(1) 理事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	報酬の 有無	他の法人等の 代表状況等
代表理事 (理事長)	酒井公夫	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(一社)静岡県暴力追放運動推進センター (一社)静岡県自動車会議所 代表理事 他
副理事長	久保田隆	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	静岡市ホテル旅館(協組) 理事長 静岡市料理飲食業(協組)理事長他
副理事長	大石 剛	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
専務理事	齋藤 誠	H29.6.7～H31.3.31	常勤	有	(公財)静岡産業振興協会 評議員 (一財)静岡県サッカー協会 理事 他
常務理事	木村精次	H29.6.7～H31.3.31	常勤	有	
理 事	出野 勉	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	富士山静岡空港(株)代表取締役社長
〃	岩谷壽夫	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(福)焼津市社会福祉協議会評議員他
〃	遠藤 修	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(公財)静岡県コンテナ輸送振興協会 副理事長
〃	大場知明	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	静岡商工会議所 専務理事 他
〃	奥村昭博	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	静岡県立大学副学長
〃	北川雅之	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	久保田裕之	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	由比町商工会会長 他
〃	佐久間章次	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	島田商工会議所専務理事 他
〃	佐藤大樹	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	杉浦 衛	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	藤枝商工会議所専務理事 他
〃	鈴木洋一	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	辻 良典	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	内記秀夫	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(公社)藤枝市シルバー人材センター 理事
〃	中村智浩	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(一財)静岡経済研究所 評議員
〃	中山孝宏	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	府川尚弘	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	安竹賢治	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	
〃	和田明久	H29.6.7～H31.3.31	非常勤	無	(公財)静岡市まちづくり公社 理事他

(注) 理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現理事は平成 30 年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

(2) 監事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	報酬の 有無	他の法人等の 代表状況等
監 事	西ヶ谷博行	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	有	(公財)静岡県私立幼稚園退職基金財団監事
〃	吉田 雄一	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	有	

(注) 監事の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現監事は平成 32 年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

(3) 評議員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	報酬の 有無	他の法人等の 代表状況等
評議員	今田智久	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	(一社)静岡県中部未来懇話会 代表理事/副会長 他
〃	岩瀬洋一郎	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	梅島 毅	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	遠藤 聡	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	大井一郎	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	(公社)清水清港会 理事
〃	大橋 弘	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	(一財)アグリオープンイノベーション 機構 理事
〃	加藤滋幹	H29.12.1～H33.3.31	非常勤	無	
〃	亀山祐次	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	神戸重敏	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	(公財)浜松観光コンベンション ビューロー 評議員
〃	絹村真巳	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	杉浦孝典	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	竹内圭介	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	(一財)静岡県サッカー協会 理事他
〃	中島一彦	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	南條和義	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	原田雅滋	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	三浦忠司	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	
〃	村松重治	H29.6.7～H33.3.31	非常勤	無	

(注) 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までのため、現評議員は平成 32 年度決算定時評議員会終結時で任期満了となる。

(4) 退任した役員等

氏 名	退任時の地位	退 任 日	退 任 理 由
内山喜久一	理 事	平成 29 年 5 月 1 日	一身上の都合により辞任

秋田弘武	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
池谷則義	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
笠井洋明	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
神戸重敏	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
杉浦孝典	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
鈴木克昌	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
住井直道	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
滝浪 勇	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
竹内 輝	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
原科 篤	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
豊後知里	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
村上信彦	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
村松重治	理 事	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
森下登志美	理 事	平成 29 年 5 月 1 日	一身上の都合により辞任
青山吉和	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
白井 満	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
内海克彦	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
海野耕司	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
加藤高立	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
川島芳博	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
木内藤男	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
久野康宏	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
坂本 渡	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
常盤哲司	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
外山浩司	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
豊吉保詩	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
中澤直樹	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
前田幹夫	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
村松孝次郎	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任
森竹史郎	評議員	平成 29 年 6 月 7 日	任期満了に伴う辞任

(5) 役員等の報酬等

区 分	人 数	報酬等の総額	備 考
理 事	23 名	9,035 千円	常勤理事 2 名分
監 事	2 名	30 千円	
評議員	17 名	0 円	
合 計	42 名	9,065 千円	

(注) 1 理事の報酬等の額には、使用人兼務理事の使用人分給与は含まれていない。

2 理事及び監事の報酬限度額は、平成 25 年 4 月 26 日開催の第 1 回臨時評議員会において、理事は年額 600 万円以内、監事は年額 30 万円以内と決議されている。

vii 職員に関する事項

(1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人 数	11	0	1	10
平 均 年 齢	44.6	—	—	44.1
平均勤続年数	18.5	—	—	18.7

(注) プロパー職員のみ対象

(2) 職名及び担当事務の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	木村精次	H29.4.1	事務局統括	重要な使用人
事務局次長兼総務部長	渡辺琢久	H29.4.1	総務部統括	プロパー職員
総務課長	石原敦子	H26.4.1	総務課統括	プロパー職員
企画開発部長 (CMO)	片桐 優	H29.10.1	企画開発部統括	特別任用職員
企画開発部 主幹	岩崎昌登	H29.10.1	DMO 推進事業	プロパー職員
企画開発部 主任	杉本哲也	H29.10.1	DMO 推進事業	静岡市から出向
企画開発部 主任	八木将彦	H29.10.1	DMO 推進事業	静岡銀行(株)から出向
企画開発部 主任	伴野翔平	H29.10.1	DMO 推進事業	静岡市から出向
事業部長	安池弘明	H28.4.1	事業部統括	プロパー職員
観光振興課長	小島 正	H28.4.1	観光振興課統括	静岡鉄道(株)から出向
観光振興課 主幹	小林洋子	H26.4.1	観光振興事業	プロパー職員
MICE 担当部長	稲垣 潤	H29.4.1	事業部長補佐	(株)JTB 中部から出向
MICE 推進課長	石上 敬	H29.10.1	MICE 推進課統括	近畿日本ツーリスト(株)から出向
清水事務所長	杉山美樹江	H26.4.1	清水事務所統括	プロパー職員
清水事務所 参事	大澤 仁	H29.4.1	清水区観光客等受入事業	嘱託職員

(注) その他、主事 4 名 (プロパー職員)、再雇用 2 名、嘱託 4 名、企業出向 1 名、パート 8 名

(ロ) 事業の状況

i 事業の経過及びその成果

平成 29 年度は、公募により採用したマーケティング責任者（CMO）を中心に、コーポレートロゴ、組織の目指すビジョン『地域の魅力を引き出し、稼ぐ力を高め、選ばれるまちをつくる』、行動指針『Empathy & Surprise（共感と驚き）』を策定、組織名も改称し名実ともに再出発した。

DMO 推進事業として、Learn、Tea、Sea を軸にしたデスティネーションブランド戦略を掲げ、5 市 2 町の首長が一堂に会して開催した「Destination Brand Summit」にて合意した。今後は、しずおか中部連携中枢都市圏ビジョンに基づくポリセントリックな観光まちづくりを目指し、5 市 2 町をバランス良くデスティネーションとしてブランディングし、事業を展開する予定。

具体的な成果としては、7 月に開設したInstagram「suruga_traveler（するとら）」のフォロワーが 3 月末で 5,500 人を突破し、各市町を代表する女性で構成する「するとらガールズ」にも協力していただき、地域の魅力的な景色やグルメなどの写真に多くの“いいね！”を獲得した。

MICE 推進事業では、東アジアを中心にインバウンド誘致に努めるとともに、国内外の MICE 誘致についても積極的に行った結果、北京市新英才学校や韓国教育大学校の教員の視察受け入れや台湾や韓国からの教育旅行誘致に成功、全国理容競技大会（2,000 名）、全国建築板金業者大会（4,000 名）等の誘致に成功した。

着地型観光事業については、安倍川花火大会の観覧ツアーを企画し、100 席販売した。今後も当財団ならではの商品を企画し、国内観光客向けにとどまらず、インバウンドや富裕層にも対応できるプログラムを開発していく予定。また、「するが企画観光局設立記念セミナー」では、小和田哲男静岡大学名誉教授にご講演いただき、当初の想定を上回る 280 名の参加申込があった。

【公益目的事業】

主な成果		
・デスティネーションブランド戦略（Learn、Tea、Sea）を策定、サミットで合意		
・Instagram「suruga_traveler（するとら）」フォロワー 5,500 人を突破		
・「川根温泉茶ービスエリア」など複数のプロジェクトを企画実施し、個別実績づくりに成功		
中期計画に基づく KPI		
	平成 29 年度 【目標】	平成 29 年度 【実績】
ファクト共有機会	2 回	1 回
ターゲット認知	0%	測定中
支援引き合い数	2 件	5 件

I DMO 推進事業

1 地域連携 DMO 推進事業

(1) 体制づくり

ア. チームビルディング

企画開発部においての組織ミッションと個人ミッションを設定した。また、CMO が講師となり、マーケティング研修を開始し、現在も継続している。（毎週水曜日、90 分間）

イ. 360 ネットワーキング

業界キーマンとのネットワーキング構築のためのリストを作成した。

ウ. インダストリーランドスケープ

業界構造の分析とキーマトリクス（統計データ）の整理のため、事業設計を実施した。

エ. ナレッジ・ベース（知識・経験のDB化）

観光関連ニュースや他地域成功事例をチーム内で共有・蓄積する方法を構築した。

オ. 組織改革

組織名改称による再出発として、コーポレートロゴ、組織の目指すビジョン『地域の魅力を引き出し、稼ぐ力を高め、選ばれるまちをつくる』、行動指針『Empathy & Surprise（共感と驚き）』を策定した。

また、業務棚卸を実施し、毎月末に若手プロパー職員のスキルアップを目的とした研修を実施した。



公益財団法人

するが企画観光局

(2) ブランド戦略づくり

Learn、Tea、Sea を軸にしたデスティネーションブランド戦略を掲げ、12月26日に5市2町の首長が一堂に会して開催した「Destination Brand Summit」にて合意した。

今後は、しずおか中部連携中枢都市圏ビジョンに基づくポリセントリックな観光まちづくり、5市2町をバランス良くデスティネーションとしてのブランディングを展開する。

Learn については、5市2町の地域資源を活用し、ターゲットとなる都心高所得ファミリー（プレジデントファミリー＝PF層）の教育ニーズに応える着地型プログラムの開発を推進し、モニターツアー、テストマーケティング等を使って事業性の検証を行う。また、宿泊滞在場所の開発に向けた事業戦略の検討を、事業者、行政と連携し推進する。

Tea については、地域の茶プレイヤーと連携し、飲用体験とデザインのイノベーションにつながるイベントブランドを開発し、複数回展開する。あわせて、ブランドの発地へのエクスポート、物販への活用などを適宜検討、実行する。

Sea については、地域の素材、産品を使ったグルメの開発及びブランド構築を進める。

ア. 調査・分析

8月に全国の国内旅行者を対象に実施したインターネット調査では、全国47都道府県の旅行者20代から60代の男女5,360人の回答があり、観光ニーズ、カスタマージャーニーの詳細を捕捉することで、静岡県中部地域の観光の現状と課題を把握し、観光資産から導き出される最適な誘致ターゲットプロファイルやターゲット層の行動・心理に基づいた観光サービス、情報発信、消費促進戦略を導き出した。

今後は観光調査データを商品化した「JTI2017 (Japan Tourist Insight)」の販売を計画している。販売対象は、全国の自治体観光組織・団体を想定、販売形態はレポートやデータなど複数用意し、今後の調査への相乗りプランなども展開する予定。

イ. 地域別機会整理

静岡市街地、静岡市清水区、焼津・藤枝、島田・牧之原・吉田町、川根本町・奥シズの5エリアそれぞれにエリアマネージャーを配置し、個別に地域ブランド戦略を検討。

12月26日に開催した「Destination Brand Summit」で発表した。

ウ. 組織全体、行政関連

10月5日に“Opportunity for Innovation”をコンセプトとし、組織名改称による再出発の節目の場として、参加者に気付きや驚きを与え、観光への取り組みを変えたきっかけとなるための場とする「Destination Brand Conference」を開催し、組織の目指す

ビジョンや行動指針を宣言した。また、12月26日に市町の首長との合意形成を目的として「Destination Brand Summit」を開催した。

エ. 食・グルメ・土産・スイーツ開発

当地域ならではのグルメ・スイーツとして、ミントグリーンティーやお茶の葉かき氷など、10月5日開催の「Destination Brand Conference」にて試食を実施。今後はフィジビリティパートナーと具体的な商品開発に向けて検討していく予定。

オ. SNS情報発信

7月にInstagram「suruga_traveler（するとら）」を開設し、各市町を代表する女性で構成する「するとらガールズ」にも協力していただき、地域の魅力的な景色やグルメなどの写真をアップした。

更なるフォロワー獲得のために広告投資を実施した結果、3月末でフォロワー5,500人を突破した。



(3) 個別実績づくり

ア. 寸又峡「夢の吊り橋」収益化推進プロジェクト

8月下旬より、寸又峡美女づくりの湯観光事業組合、川根本町商工会、川根まちづくり観光協会との協業プロジェクトを立ち上げ、当地域で人気を集めている「夢の吊り橋」の行列解消策として、受付管理アプリ「エアウェイト（Recruit Holdings Co.,Ltd.）の試験導入を実施した。順番受付をすると予約券が発行され、QRコードを読み込むことでいつでも混雑状況が確認できる仕組みで、割引クーポンの発行も可能となっており、周辺地域への回遊促進に繋げることができる。ICT×地域活性化事例としてNHK（NHK NEWS）に取り上げられた。今後も継続的に運用できる方法を検討していく。さらに、夢の吊り橋の「湖面の色」に名付けをして、ブランドとして活用することを提案。今後はブランドを活用した商品やサービスの開発を進めていく予定。

当地域の露出拡大を図るため、10～12月にPR活動を委託実施。RETRIP、TABIZINE、Nicheee!に記事掲載された。また、3月にはYouTuberを活用した動画制作及び配信を行い、ターゲットとなる若年層女性約5万人に対して寸又峡の魅力を訴求した。

また、当プロジェクトの活動について、静岡県の「魅力ある観光地域づくり推進事業費補助金」に申請し、交付決定を受けた。



イ. 梅ヶ島農山宿泊活性プロジェクト

国の「明日の日本を支える観光ビジョン」にも記されている「農泊の推進による農山漁村の活性化」に取り組むため、平成22年、23年に農林水産省の農山漁村こども交流プロジェクトを実施した「しずおかの恵み体感協議会」と協業し、昨年3月に農林水産省「農山漁村振興交付金」農泊推進事業の事業提案を行い、5月12日に採択を受けた。

当事業の推進のため、交付金事務の支援や事業運営に必要な資金貸付を行ったほか、冬季から春季にかけて梅ヶ島地域宿泊活性のため、動画によるプロモーションを行った。

ウ. 焼津グルメ開発プロジェクト

焼津の水産物の商品化、ブランド化を目的として、地域の事業者と協業し焼津ならでのグルメ開発を支援。事業者と共同でのラボ開発を行い、試作品をアウトプットした。

商品ロゴ、パッケージデザインについても当財団から企画提案を行い、4月に行われる焼津みなとまつりにおいて、テスト販売を共同実施する。また、事前PRのため、プレスリリース、メディアキャラバンを展開し、新聞やWEB媒体への露出を獲得した。

エ. 日本平ホテルブランディングプロジェクト

清水エリアの観光の核となり得る日本平ホテルとともに、単価と認知度向上を目的としたブランディングプロジェクトを立ち上げ、先行的な取り組みとして欧米富裕層向けの至高のお茶体験プログラムやアフタヌーンティーの開発を提案し、外国客船誘致セールス用の「清水港体験型観光メニューブック」に掲載した。今後は、従業員を対象としたワークショップ、メディア向けのファムトリップを実施し、当プロジェクトをきっかけに日本平を重要なデスティネーションとして磨き上げていく。

オ. 島田 ICT コンソーシアム

本事業の委託事業者である㈱テクノサイトと共同で、観光とICTを絡めた市街地の周遊促進を目的とした企画を立案。9月にはプロジェクト立ち上げに際し、域内事業者、商工会議所、教育機関等を集めたセミナーを開催。来年度内の本格的な実証実験の開始に向け、2月23日にお立ち寄りスポット検討ワークショップを開催した。

カ. 川根温泉茶ービスエリア

島田市商工会からの依頼を受け、川根温泉ふれあいの泉で実施する新たなイベントを企画。地元の承認を得て、12月3日（日）に開催し、お茶の産地『川根』だから出来るサービス（茶ービス）で来訪者をもてなした。当日MCに久保ひとみ氏を迎え、メディアでの事前PRを実施しながら、地域外からの来訪者増を狙って実施した。

(4) その他

ア. 商品開発、販売促進活動

静岡県中部地区観光連絡協議会と「観光による地域活性化の推進に関する協定書」を締結し、春（北関東）と秋（関西）の観光キャラバンに同行した。

イ. デスティネーションキャンペーン 2019

2019年に実施される「デスティネーションキャンペーン 2019」に向け、中部地域部会を立ち上げた。「するが春爛漫」をキャッチフレーズに、「ツーリズム EXPO ジャパン」への出展や、「ふじのくにしずおか観光大商談会 in 大阪」では焼津鰯三昧を筆頭に、臨済寺特別拝観「今川家の菩提寺臨済寺で坐禅体験」や「国宝・久能山東照宮／徳川歴代将軍名宝展」と夜間特別拝観「天下泰平の竹あかり」のPRを行った。5月15日に全国宣伝販売促進会議に向けた準備を各自治体と共に進めている。

ウ. 「駿河東海道おんぱく 2018」運營業務受託

同事業の運營業務を静岡市より受託し、イベント参加事業者の募集や各種媒体制作などを行い、現在は2月から3月のイベント期間中の事業運営等を行った。

運営に当たっては、藤枝おんぱくの運営事業者である一般社団法人 SACLABO に事業協力、ノウハウ提供を求め、相互に連携して運営を行った。

エ. 「清水港体験型観光メニューブック」制作業務受託

清水港客船誘致委員会（事務局：静岡市清水港振興課）より、クルーズ船誘致の際に、

清水港周辺施設を組み込んだ新たなツアー造成を促すため、提案資料として活用する「清水港体験型観光メニューブック」の制作業務委託の依頼があり、受託した。

オ. セミナー、講演会及び研修会

藤枝市及び川根本町において、「suruga_traveler（するとら）」のアカウント運営ノウハウを基に、SNS 研修やプロモーションに関する講演を行った。

その他、各市町の事業者、団体等から観光、宿泊、お茶等、様々なテーマでの講演依頼があり、下記のとおり実施した。

事業者・団体名	開催日	従事者
牧之原市活性化ネットワーク	平成 29 年 9 月 22 日（金）	片桐
静岡市議員研修会	平成 29 年 10 月 11 日（水）	片桐
藤枝市	平成 29 年 10 月 13 日（金）	鈴木
(株)オカムラ	平成 29 年 10 月 26 日（木）	片桐
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	平成 30 年 2 月 7 日（水）	片桐
島田信用金庫	平成 30 年 2 月 16 日（金）	片桐
川根本町	平成 30 年 3 月 14 日（水）	鈴木
藤枝市	平成 30 年 3 月 16 日（金）	片桐

II MICE 等推進事業

主な成果		
・MICE 合計 187 件（うち国際会議 10 件、国内会議 78 件）の誘致支援に成功		
・国際会議及び国内会議開催による経済波及効果は、約 56 億 7,500 万円 （※するが企画観光局による推計値。スポーツ大会、イベント、客船関係等除く）		
・中国及び韓国の教育団体の視察受け入れに成功		
・CTS MICE 社の発刊する「CTS MICE Magazine」に紹介記事の無料掲載に成功		
中期計画に基づく KPI		
	平成 29 年度【目標】	平成 29 年度【実績】
新規 MICE 誘致件数	15 件	13 件
MICE 支援件数	180 件	187 件
商談会商談件数	150 件	117 件
外国人宿泊者数	50,000 人	測定中

1 MICE 情報収集・情報発信事業

(1) 日本政府観光局（JNTO）・JCCB 等関連情報の収集

日本政府観光局（JNTO）及び JCCB 等主催の会議に 8 回出席し、情報収集や良好な関係性の構築に努め、圏域内での MICE 開催情報を収集した。

(2) 中部コンベンション連絡協議会、県コンベンション推進会議等との連携

上記協議会等に出席し、連携を図ることで、MICE 関連の情報収集を行った。

(3) MICE 連絡会・報告会の開催

行政やコンベンション施設担当者等で組織する「MICE 連絡会（延べ参加者数 96 人）」を

8回、「MICE 報告会（参加者数 10 人）」を 1 回開催し、誘致状況や開催情報を共有することにより、オール静岡で MICE 誘致に取り組んだ。

(4) 海外商談相手へのメールによる情報発信

インバウンド誘致を目的に、海外商談パートナーネットワークを拡大するとともに、今年度は 10 回、延べ 1478 件に対しメール配信を行い、誘客に努めた。

(5) 経済波及効果調査の実施

MICE 誘致・支援及び開催の意義や、当財団の存在意義を広く周知させるため、圏域内で開催した MICE の経済波及効果を調査し公表した。

今年度の国際会議及び国内会議開催による経済波及効果は、**約 56 億 7,500 万円**

(※するが企画観光局による推計値。スポーツ大会、イベント、客船関係等除く)

① 第 35 回全日本レディースバドミントン選手権大会

開催期日 平成 29 年 7 月 20 日（木）～23 日（日）

開催場所 このはなアリーナ（静岡市駿河区）

参加者総数 1,354 人（うち県外 950 人）

経済波及効果 220,867,178 円

（うち、直接的経済効果 78,586,654 円、間接的経済効果 142,280,524 円）

② 第 56 回日本 SF 大会 ドンブラコン LL

開催期日 平成 29 年 8 月 25 日（金）～27 日（日）

開催場所 グランシップ（静岡市駿河区）

参加者総数 1,200 人（うち県外 1,000 人、海外 165 人）

経済波及効果 114,099,390 円

（うち、直接的経済効果 39,722,365 円、間接的経済効果 74,377,025 円）

※ JCCB（日本コンGRESS・コンベンションビューロー）発行のコンベンションによる経済効果測定ハンドブックにより算出。

2 MICE 等誘致事業

(1) 国内外の見本市出展及び MICE 商談会への参加・現地セールス

国内唯一の国際 MICE 見本市である「国際 MICE エキスポ（IME）」をはじめ、ビジットジャパントラベルマート（VJTM）、JNTO や静岡県等が主催する国内外の見本市及び商談会に賛助会員とともに出展し、圏域の PR 及び誘致活動を行った。

会 議 名	開 催 期 日	会 場
VJ 台湾訪日教育旅行促進事業現地説明会	平成 29 年 6 月 20 日（火）～22 日（木）	高雄・台中 ・台北
JNTO インセンティブ商談会 in 北京 及び上海・北京エージェンツセールス	平成 29 年 8 月 21 日（月）～26 日（土）	中国 （上海・北京）
VISIT JAPAN TRAVEL MART 2017	平成 29 年 9 月 21 日（木）～23 日（土）	東京ビックサイト
台中・香港エージェンツセールス （賛助会員 同行）	平成 29 年 12 月 11 日（月）～16 日（土）	台中・香港
台湾ブロッガー招待	平成 30 年 1 月 14 日（日）～19 日（金）	静岡市・TSJ・ 県台湾事務所
TITF（タイ旅行博）出展	平成 30 年 2 月 7 日（水）～11 日（日）	タイ・バンコク
第 27 回国際 MICE エキスポ IME2018	平成 30 年 2 月 28 日（水）	東京都
MEET JAPAN 2018	平成 30 年 3 月 1 日（木）	東京都（商談会）

	平成 30 年 2 月 27 日（火）～28 日（水）	静岡市（受入）
--	-----------------------------	---------



8 月 上海・北京インセンティブ商談会



12 月 香港・台湾セールスキャラバン



2 月 国際 MICE エキスポ（IME）



2 月 TITF タイ旅行博出展（静岡ブース）

成果①

団体名	受 入 日	受入人員	来訪地
北京市新英才学校 （教員団体の視察）	平成 29 年 11 月 21 日（火）～11 月 23 日（木）	11 名	静岡市
韓国教育大学校 （教員団体の視察）	平成 29 年 11 月 30 日（木）～12 月 2 日（土）	11 名	静岡市

成果②

会社名	内 容	規模	国
CTS MICE	CTS MICE 社（平成 30 年 3 月 20 日発刊） 「CTS MICE Magazine」に記事無料掲載 CTS が出展の H30 年度 MICE 展で配布予定	800 冊	中国

(2) 首都圏等における戸別訪問

主に首都圏で MICE 開催地の決定権限を持つ各種団体の本部事務局を訪問し、キーパーソンとなり得る責任者及び担当者と直接面談し、当地域での開催を働きかけた。（18 回、78 件）

(3) 訪日教育旅行受け入れ

訪日教育旅行誘致事業により来静が実現した、台湾と韓国の中高生の受け入れを実施した。

学 校 名	訪 問 日	受入高校・企業	生徒(教員)
台湾市立内湖高級中学（台湾）	平成 29 年 4 月 17 日（月）	静岡東高校	32 (3)
国立新宮高級中学（台湾）	平成 29 年 5 月 15 日（月）	静岡北高校	32 (3)

台北市内工業高校	(台湾)	平成 29 年 7 月 10 日 (月)	日本軽金属研修	19 (3)
仁川税務高等学校	(韓国)	平成 29 年 9 月 12 日 (火) ～13 日 (水)	清水桜が丘高校	10 (2)



11 月 韓国ファムトリップ受け入れ



11 月 北京からの視察受け入れ

(4) 韓国教育者招請事業

静岡県・浜松市・御殿場市と協働し、富士山静岡空港の就航先である台湾や韓国の中高生等の教育旅行誘致のため、教育旅行関係者の招請を行った。

招請団体・企画事業	受入日	受入人員	来訪地
韓国教育者招請事業 (御殿場市・浜松市との協働)	平成 29 年 11 月 20 日 (月) ～23 日 (木)	11 名	静岡市

(5) MICE 主催者等 (キーパーソン) 招請事業

JNTO や静岡県等の関係機関と連携し、国際会議やインセンティブ旅行等の開催に影響力を有するキーパーソンを招請し、開催会場や観光施設を案内した。

招請団体・企画事業	受入日・開催期日	受入人員	来訪地
第 8 回核融合反応に関する 国際会議 (FUSION20)	平成 29 年 5 月 21 日 (日) ～22 日 (月) * 2020 年 11 月 15 日 (日) ～20 日 (金)	2 名	静岡市 * テルサ

(6) ランドオペレーター育成事業

訪日外国人観光客に係る地上手配を行う地元業者 (ランドオペレーター) を育成するため、事業者向け説明会を実施した。

平成 28 年度に作成した多言語 CD 339 枚を使用し、誘客促進に活用した。

(7) 海外メディアファム事業

静岡ツーリズムビューロー (TSJ) と協業し、香港フリーペーパー「静岡ドライブプラン」を 2,000 部作成した。また、Japan Travel 社の協力で、WEB サイトでの静岡の露出を目的に、日本在住の外国人による外国人目線での英語版記事作成、旅行申込動線の確立を図った。

3 MICE 等開催支援事業

(1) 国際会議誘致助成金交付事業

国際会議の誘致を促進するため、一定の条件に該当する外国人が参加する国際会議の主催者に、MICE 開催経費の一部として、下記のとおり助成した。(合計 1,200,000 円)

① 第 26 回環境化学討論会

開催期日：平成 29 年 6 月 7 日 (水) ～9 日 (金)

開催場所：グランシップ (静岡市駿河区)

参加者数：400 人 (うち外国人参加者 11 か国 20 人)

交付金額：200,000 円

② 第 56 回日本 SF 大会

開催期日：平成 29 年 8 月 25 日 (金) ～27 日 (日)

開催場所：グランシップ（静岡市駿河区）

参加者数：1,200 人（うち外国人参加者 16 か国 165 人）

交付金額：1,000,000 円

(2) シャトルバス運行助成金交付事業

コンベンション参加者を最寄りの駅から大会会場等に移送するためのシャトルバスの運行に要する経費の一部として、下記のとおり助成した。（合計 387,280 円）

① 第 3 回全国連合子ども観光大使 in ふじのくに静岡

開催期日：平成 29 年 7 月 29 日（土）～30 日（日）

開催場所：マリナート（静岡市清水区）

参加者数：700 人

交付金額：98,280 円

② 第 56 回日本 SF 大会

開催期日：平成 29 年 8 月 25 日（金）～27 日（日）

開催場所：グランシップ（静岡市駿河区）

参加者数：1,200 人（うち外国人参加者 16 か国 165 人）

交付金額：140,000 円

③ 第 68 回全国敬神婦人会静岡大会

開催期日：平成 29 年 9 月 25 日（月）～27 日（水）

開催場所：静岡市民文化会館（静岡市葵区）

参加者数：2,000 人

交付金額：149,000 円

(3) 歓迎モニュメントの設置や観光パンフレット等の提供による支援

① 歓迎モニュメントの設置

MICE 参加者に対し歓迎の意を表すため、大会名入りの歓迎モニュメントを設置した。

設置回数 A=40 B=32 C=22 D=17	静岡=88 藤枝=16 焼津=5 島田=2	111 件
--------------------------	-----------------------	-------

② 観光インフォメーションデスクの設置

MICE 開催時に賛助会員企業の協力を得ながら、観光名所や土産品の案内など、参加者の利便性を図るために、案内・販売ブースを設置した。（5 件、案内者数 498 人）

③ パンフレット類およびコンベンション支援

- ・駿河の國おもてなしクーポン 95,470 部 (100,000 部作成)
- ・グルメ&ナイトマップ 77,230 部 (80,000 部作成)
- ・コンベンションバック 支援 28 団体 9,837 個 (10,000 個製作)
- ・吊り下げ式ネームホルダー 支援 12 団体 486 個 (4,000 セット製作)

（平成 29 年度 MICE 開催支援実績）

種 別	支援回数(内国際)	参加者	左の内県外参加者(外国)
学 会	18 (2)	5,400 人	4,055 人 (33)
会議・大会	70 (8)	38,558 人	27,055 人 (537)
見本市・展示会	7 (0)	200,100 人	66,800 人 (0)
スポーツ大会	76 (0)	79,257 人	40,219 人 (679)
客船誘致	14 (0)	23,826 人	0 人 (23,826)
その他	2 (0)	4,550 人	250 人 (0)

合 計	187 (10)	351,691 人	138,379 人 (25,075)
-----	----------	-----------	--------------------

Ⅲ 着地型観光事業

主な成果		
・安倍川花火大会の機敷席を提供する花火観覧ツアーを企画実施し、100 席販売		
・するが企画観光局設立記念セミナーでの小和田哲男静岡大学名誉教授の講演に 280 名が参加		
中期計画に基づく KPI		
	平成 29 年度【目標】	平成 29 年度【実績】
WEB サイト閲覧数	1,000 千 PV	998 千 PV
教育旅行誘致件数	40 校	39 校
着地型商品造成数	2 本	1 本
案内所利用者数	125,500 人	125,874 人
末廣来館者数	16,200 人	13,159 人

1 観光宣伝事業

(1) 観光パンフレット等作成・配布事業

静岡市の魅力発信と来静者への観光案内及び利便性の向上を目的として、下記のとおり観光パンフレットを作成した。また、既存のパンフレットの内容を検証し、さらに内容を充実させるため、改訂やリニューアルを実施した。

① 清水区市街地観光マップ

作成部数 20,000 部（改訂増刷） 8 月 28 日納品

② 三保旅手帳

作成部数 30,000 部（改訂増刷） 10 月 25 日納品

③ 平成 30 年版静岡市観光カレンダー

作成数量 1,800 部 11 月 24 日納品

④ わおマップ静岡

購入部数 20,000 部 2 月 7 日納品

⑤ 道中マップ韓国語版

作成部数 10,000 部（改訂増刷） 3 月 15 日納品

⑥ 道中マップ簡体字版

作成部数 5,000 部（改訂増刷） 3 月 16 日納品

⑦ おちりよこ静岡

作成部数 50,000 部（改訂増刷） 3 月 28 日納品

(2) 広告宣伝事業

静岡市の PR 及びイメージ向上を図るため、下記の広告宣伝事業を実施した。

① ショーウィンドウ等活用宣伝

JR 静岡駅前地下道及び JR 東静岡駅、富士山静岡空港ターミナルビル内、静岡県名古屋観光案内所に設置している広告ケースを利用し、静岡市観光とコンベンション情報を PR

② 山梨日日新聞 タブロイド判レジャーガイド

夏季から秋季の誘客促進を図るため、清水みなと祭り・花火大会など夏のイベント及びアロハ三保フェスティバルを PR した記事の掲載

発行日 平成 29 年 7 月 2 日（日）

発行部数 203,000 部

③ 埼玉新聞 広告

夏季から秋季の誘客促進を図るため、清水みなと祭り・花火大会など夏のイベント及びアロハ三保フェスティバルを PR した記事の掲載

発行日 平成 29 年 7 月 14 日（金）

発行部数 160,000 部

④ 山梨日日新聞 本紙朝刊

秋から冬にかけての静岡市の主なイベント情報と、アロハ三保フェスティバル、大道芸ワールドカップ・クリスマス PR した記事の掲載

発行日 平成 29 年 9 月 30 日（土）

発行部数 203,000 部

⑤ 時空旅人別冊「西郷隆盛、激動の生涯」

平成 30 年度 NHK 大河ドラマ「西郷どん」を PR する雑誌に西郷隆盛と繋がりのある山岡鉄舟や清水次郎長、徳川慶喜などに関連する観光情報を PR した雑誌の発行

発行日 平成 30 年 1 月 4 日（木）

発行部数 100,000 部

(3) 情報発信事業

静岡市の観光情報及び MICE 情報を広域的に PR し、誘客促進を図るため、SNS や WEB サイト、広報紙を積極的に活用し、下記の情報発信事業を実施した。

① Facebook を活用した情報発信 14 回発信

② WEB サイトにて、静岡市の観光・イベント情報及びコンベンション支援情報等を発信
総 PV 数 997,792PV

③ 広報紙「するが新聞」の発行

発行 平成 29 年 11 月

発行部数 2,000 部

(4) 静岡市プロモーション人材事業

各種イベントの機会を活用し、静岡市の認知拡大及び誘客促進のため、当財団の宣伝イベントへの協力を得るとともに、依頼のあった団体にプロモーション人材を紹介した。

登録者：5 名 従事件数：10 件 従事人数：12 名

2 観光客誘致事業

(1) 修学旅行等教育旅行誘致事業

静岡市及びしずおか体験教育旅行事務局と連携をとり、松本市・横浜市・八王子市の各市の教育委員会と各小学校（校長）へ訪問し誘致活動を行った。

実施日 第 1 回 松本市 11 月 21 日（火）～22 日（水）

第 2 回 横浜市 11 月 28 日（火）～29 日（水）

第 3 回 八王子市 12 月 5 日（火）～ 6 日（水）

(2) 国内旅行客誘致事業

① 観光キャラバン隊の派遣

首都圏及び近隣県のメディアや旅行会社等を訪問し、静岡市の魅力を PR するとともに、パンフレット配布等を要請し、観光客誘致と広報宣伝活動によるイメージアップを図った。

ア 第2回全国温泉地サミット 梅ヶ島温泉郷 PR 事業

実施日 平成29年5月15日（月）

会 場 東京日本橋タワー

内 容 梅ヶ島温泉郷が環境省の「国民保養温泉地」に指定され、第2回全国温泉地サミットの開催会場にて梅ヶ島温泉郷 PR を行った。

イ 甲府市への観光キャラバン

実施日 平成29年6月14日（水）

会 場 山梨県甲府市

内 容 山梨県内からの誘客促進を図るため、市観光課、観光協会、山梨日日新聞社へ訪問後、山梨放送のラジオ番組に協会職員が生出演し、夏から秋にかけての静岡市のイベント・観光 PR を行った。

ウ ふじのくにしずおか観光大商談会 in 東京

会 場 東京都新宿区 ハイアットリージェンシー東京

実施日 平成29年6月7日（水）

内 容 静岡県観光協会主催の首都圏旅行社やメディア等との商談会に参加し、静岡市の観光商品造成を働きかけた。

エ ふじのくにしずおか観光大商談会 in 名古屋

会 場 名古屋市 ホテルメルパルク名古屋

実施日 平成29年9月5日（火）

内 容 静岡県観光協会主催の中京圏旅行社やメディア等との商談会に参加し、静岡市の観光商品造成を働きかけた。

オ ふじのくにしずおか観光大商談会 in 大阪

会 場 大阪市 スイスホテル南海大阪

実施日 平成30年2月7日（水）

内 容 静岡県観光協会主催の関西圏旅行社やメディア等との商談会に参加し、静岡市の観光商品造成を働きかけた

② 観光展・出展事業

首都圏や近隣県、姉妹都市や友好都市等において開催される観光展示会、プロスポーツ競技場及び大規模イベント会場に観光案内ブースを出展し、静岡市内の主要観光地や旬な情報の紹介をはじめ、グルメ・特産品等を併せて PR し、静岡市内への誘客を図った。

ア 第56回静岡ホビーショー出展

会 場 ツインメッセ静岡

実施日 平成29年5月11日（木）～14日（日）

内 容 会場にブース出展し、来場者への観光案内、パンフレットの配布、当財団 WEB サイトいいねキャンペーンを行い、当財団と観光 PR を行った。

イ 清水港フラワーフェスタ 2017 出展事業

会 場 清水マリンパーク

実施日 平成29年5月21日（日）

内 容 来場者へ観光案内、観光パンフレット、賛助会員関連パンフレットの配布を行った。

ウ J1「清水エスパルス 対 横浜 F・マリノス」観光 PR 事業

会 場 IAI スタジアム日本平

実施日 平成29年5月27日（土）

内 容 横浜 F・マリノスのサポーターに対し観光パンフレットを配布し、静岡市への再来訪を図った。

エ 駿府の今川さん PR イベント

会 場 静岡駅北口地下広場

実施日 平成 29 年 5 月 28 日（日）

内 容 今川さん製作委員会と静岡駅北口地下広場において、5 月 19 日に臨済寺で「今川復権宣言」をした今川義元公と静岡の観光 PR を実施した。

オ 「金沢百万石まつり 加賀百万石『盆正月』」 出展

会 場 金沢市金沢城公園内

実施日 平成 29 年 6 月 3 日（土）～4 日（日）

内 容 静岡市特産品の販売及び観光パンフレットの配布を通し、静岡市の PR と誘客促進を図った。（市交流）

カ J1「清水エスパルス 対 FC 東京」 観光 PR 事業

会 場 IAI スタジアム日本平

実施日 平成 29 年 6 月 4 日（日）

内 容 FC 東京のサポーターに対し観光パンフレットを配布し、静岡市への再来訪を図った。

キ J1「清水エスパルス 対 ヴァンフォーレ甲府」 観光 PR 事業

会 場 IAI スタジアム日本平

実施日 平成 29 年 6 月 25 日（日）

内 容 ヴァンフォーレ甲府のサポーターに対し観光パンフレットを配布し、静岡市への再来訪を図った。

ク J1「清水エスパルス 対 ガンバ大阪」 観光 PR 事業

会 場 IAI スタジアム日本平

実施日 平成 29 年 7 月 8 日（土）

内 容 ガンバ大阪のサポーターに対し観光パンフレットを配布し、静岡市への再来訪を図った。

ケ 「プロ野球フレッシュオールスター」 観光 PR 事業

会 場 草薙球場

実施日 平成 29 年 7 月 14 日（木）

内 容 来場者に対し観光パンフレットを配布し、観光 PR と静岡市への再来訪を図った。

コ 「オクシズ」 観光 PR 事業

会 場 名古屋市 中日ビル

実施日 平成 29 年 7 月 28 日（金）

内 容 来場者に対し観光パンフレットの配布及び静岡市特産品（げんぺい堂、加藤商店、駿府楽市）の販売を通し、オクシズ PR と誘客促進を図った。

サ 外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」 船内にて観光 PR 事業

会 場 船内観光デスク

実施日 平成 29 年 8 月 18 日（金）～19 日（土）

内 容 「ダイヤモンド・プリンセス」に乗船し大阪港から清水港までの航海中に船内観光デスクにて静岡市の観光 PR を実施し、乗船客のおもてなしを図った。

シ J1「ヴァンフォーレ甲府 対 清水エスパルス」観光 PR 事業

会 場 山梨中銀スタジアム

実施日 平成 29 年 9 月 9 日（土）

内 容 ヴァンフォーレ甲府のサポーターに対し観光パンフレットを配布し、静岡市への来訪を図った。

ス ふじのくにラグビーフェスタ 2017 in エコパ 観光 PR 事業

会 場 袋井市 エコパスタジアム

実施日 平成 29 年 9 月 30 日（土）及び 10 月 14 日（土）

内 容 ラグビーワールドカップ 2 年前イベントとして開催されたイベントに静岡市スポーツ交流課とともに出展し、観光パンフレットを観戦者に配布し、PR を図った。

セ 姉妹都市上越市の観光と物産展

会 場 上越市 上越観光物産センター

実施日 平成 29 年 10 月 8 日（日）～9 日（月：祝）

内 容 新潟県上越市で開催されたイベントに出展し、賛助会員による静岡市の特産品の販売及び観光 PR と誘客促進を図った。（市姉妹都市）

ソ 甲府大好きまつり出展（静岡市企画課主管事業）

会 場 甲府市 小瀬スポーツ公園

実施日 平成 29 年 10 月 28 日（土）

内 容 甲府市で開催されたイベントに静岡市企画課とともに出展し、静岡市の観光 PR と誘客促進を図った。（静岡市甲府市連携）

タ 佐久市農業祭・友好都市物産と観光展

会 場 佐久市駒場公園・佐久創造館

実施日 平成 29 年 11 月 11 日（土）

内 容 長野県・佐久市においてイベントに出展し、賛助会員による静岡市の特産品の販売をはじめ観光 PR を実施した。（市友好都市交流）

チ タミヤフェア

会 場 ツインメッセ静岡

実施日 平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）

内 容 会場にブース出展し、来場者への観光案内、パンフレットの配布、静岡市の観光に関するゲームなど行い当協会と観光 PR を行った。

ツ サイクルフェス in 東静岡出展（静岡市観光自転車ネットワーク協議会扱い）

会 場 静岡市駿河区 池田東静岡公園

実施日 平成 29 年 11 月 19 日（日）

内 容 自転車の楽しみ、自転車の利用マナーや交通ルールを周知する参加・体験型イベントに出展しレンタサイクル事業の PR を行った。

テ 食の合戦 in ながの

会 場 長野市南長野運動公園

実施日 平成 29 年 11 月 23 日（木）～24 日（金）

内 容 長野県・長野市においてイベントに出展し、賛助会員による静岡市の特産品の販売をはじめ観光 PR を実施した。（市集客プロモーションパートナー都市）

ト 産業フェアしずおか 2017 出展

会 場 ツインメッセ静岡

実施日 平成 29 年 11 月 25 日（土）～26 日（日）

内 容 南館観光ゾーンに設置された観光インフォメーションにて、来場者に対し市内観光地の紹介、パンフレットの配架を行った。

ナ クリスマスフェスタ 2017 出展

会 場 ツインメッセ静岡

実施日 平成 29 年 12 月 9 日（土）～10 日（日）

内 容 会場にブース出展し、来場者への観光案内、静岡市の観光に関する静岡検定や今川さん缶バッジ塗り絵体験を行い静岡市の観光 PR を行った。

ニ 客船「飛鳥Ⅱ」船内にて観光 PR 事業

会 場 飛鳥Ⅱ 船内観光デスク

実施日 平成 30 年 1 月 25 日（木）～26 日（金）

内 容 「飛鳥Ⅱ」に乗船し、横浜港から清水港までの航海中に船内観光デスクにて静岡市の観光 PR を実施し、乗船客のおもてなしを図った。

③ ノベルティグッズ作成事業

主に観光キャラバン隊や観光展覧事業にて活用するため、下記のノベルティグッズを作成した。

ア クリアファイル

作成部数 10,000 部（新規） 11 月 27 日納品

イ ビニール袋

作成部数 20,000 部（新規） 12 月 20 日納品

ウ フリクションマーカー

作成本数 500 本（新規） 12 月 16 日納品

(3) 着地型観光推進事業

静岡市発着の特別な旅行プランやプログラムを企画販売実施し、地域資源の商品化を進めることで、地域の稼ぐ仕組みのモデルとなる成功事例を作り出し、将来的に定番商品にステップアップさせるため、今年度は安倍川花火大会の栈敷席を提供する花火観覧ツアーを企画実施、100 席の販売に成功した。

3 観光客等受入事業

(1) 観光案内所運営事業

下記の観光案内所を運営し、観光地やイベントへの誘客や、産品購入等を促進するとともに、観光客の利便性を高めるため、観光客への観光案内と情報発信を行った。

① 静岡駅総合観光案内所（静岡駅北口） 91,025 人

② 静岡市静岡駅観光案内所（静岡駅南口） 20,149 人

③ 静岡市清水駅前観光案内所 14,700 人

④ はごろも情報ひろば「みほナビ」 72,456 人

⑤ 静岡まつり会場臨時観光案内（4/2～4/3）

駿府城公園内のブースにて観光パンフレット等を配架

(2) 船宿「末廣」運営事業

外国客船の乗船客や国内外から訪れた観光客に対し、清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示や観光と物産の情報を提供した。 入館者数 13,159 人

(3) 観光ボランティア活動支援事業

支援事業選定委員会による審査の結果、観光ボランティアガイド団体「静岡案内人 駿府ウエイブ」と「清水区観光ボランティアガイドの会」に対し、助成金を交付した。

「静岡案内人 駿府ウエイブ」 300,000 円

「清水区観光ボランティアガイドの会」 100,000 円

(4) セミナー・交流会開催事業

ア 異業種交流会⇒Destination Brand Conference

10 月からの組織名改称に伴い、「Destination Brand Conference」に名称及び内容を変更し、今回は「2017～re:start～」をテーマに開催した。

イ (公財)するが企画観光局設立記念セミナー

開催日：12 月 4 日 午後 2 時～午後 4 時

会 場：グランシップ 10 階会議室

参加者：280 名

講演会：「戦国大名 今川氏の実力 一実はこんなにすごかったー」

講 師：静岡大学名誉教授 小和田哲男氏

(5) 大型客船寄港時受入事業

客船入港時に計 38 回、清水港日の出埠頭にて観光案内所及び特産品販売所を設置した。

(6) 富士山世界遺産登録 4 周年記念事業

三保松原へ来場する観光客に世界遺産登録 4 周年を迎えたことを広く周知するとともに、三保松原を始めとする静岡市の観光 PR を図った。

実施日 平成 29 年 6 月 24 日 (土)

会 場 はごろも情報ひろば「みほナビ」

(7) 「富士山の日協賛」三保松原ご来訪感謝デー

富士山世界遺産構成資産である「三保松原」の PR のため、来所者に対してお楽しみ抽選会を実施し、100 名に静岡市ゆかりの記念品を提供した。

実施日 平成 30 年 2 月 24 日 (土)

会 場 はごろも情報ひろば「みほナビ」

4 イベント等支援事業

地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれる下記のイベントに対し、助成金を交付した。

(1) アロハ三保フェスティバル 2017 (助成額 500,000 円)

静岡県内外からの参加者がフラ及びハワイアン音楽の演奏、ウクレレ等のハワイアン関連のワークショップやハワイアン関連商品の販売等を実施した。

開 催 日 平成 29 年 9 月 30 日 (土) ～10 月 1 日 (日)

会 場 三保ハーバルキャンプ場

来 場 者 数 約 4,500 人

(2) 第 34 回井川もみじマラソン大会 (助成額 37,500 円)

ハーフコース、10km、5km、2.5km のマラソン大会を開催し、井川地区の観光 PR や井川の特産物の販売、選手や来場者になめこ汁やお茶の無料サービスを実施した。

開 催 日 平成 29 年 10 月 29 日 (日)

会 場 リバウエル井川スキー場

参 加 者 数 233 人 (選手)

(3) 第 21 回日本平梅まつり（助成額 300,000 円）

日本平梅園や冬の富士山の眺望が美しい日本平及びイチゴ狩が最盛期である久能地域などの観光資源を、第 21 回を迎える日本平梅まつりで広く周知宣伝し、日本平とその周辺観光地の集客増を図った。

開 催 日 平成 30 年 2 月 10 日（土）～11 日（日・祝）

会 場 日本平梅園、日本平山頂及び日本平周辺

来 場 者 数 約 7,000 人

(4) 第 15 回記念 清水カップ全国グラウンドゴルフ大会（助成額 1,000,000 円）

富士山が美しく眺められる季節に、静岡市の代表的な観光地である日本平で全国から集まる参加者に競技をしていただき、グラウンドゴルフを通じて親睦と交流を図るとともに、地元食材を使用した食の提供や特産品の紹介などを行うことにより、静岡市の魅力や素晴らしさを宣伝し観光振興を図った。

開 催 日 平成 30 年 2 月 20 日（火）～21 日（水）

参 加 者 数 330 人

会 場 日本平会場：日本平ホテル芝生庭園

久能会場：清水蛇塚スポーツグラウンド

【収益事業】

1 収益事業

(1) 観光施設に隣接する駐車場の管理・運営事業

・登呂遺跡駐車場運営事業

大型車 659 台 普通車 24,358 台 夜間 40 台 10,804,200 円

・駿府城跡観光バス駐車場受託事業

昼間 3,434 台 夜間 334 台

(2) 地下道ショーケース貸出事業

4 月 15 日から 1 年間の広告掲載 貸出ケース数：17 件

短期広告掲載 貸出ケース数：45 件 計 7,537,468 円

(3) 土産品等販売事業

1,032,802 円（末廣：769,412 円／自販機：263,390 円）

【組織経営】

主な成果		
・「清水港体験型観光メニューブック」制作受託等による自主財源増加や経費節減により黒字化		
・講演会やセミナー講師依頼の受託によるプレゼンス向上		
中期計画に基づく KPI		
	平成 29 年度 【目標】	平成 29 年度 【実績】
支援引き合い数	2 件	5 件
当期正味財産増減額	△15,000 千円	556 千円
プロパープロ人材数	0 人	0 人

ii 資金調達の状況

① 資金調達

なし

② 設備投資

i 重要な固定資産の取得

ii 重要な設備の新設、増設

iii 重要な固定資産の売却、除却、滅失等

なし

iii 重要な契約の締結

※記載すべき重要な契約の締結はなし

iv 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当該事業年度)
経常収益	233,225,955	222,952,487	239,299,725	277,637,551
評価損益等調整前 当期経常増減額	7,175,690	3,362,456	△7,608,001	△104,339
当期経常増減額	7,175,690	3,362,456	△7,608,001	△104,339
正味財産期末残高	615,299,081	616,883,862	607,630,337	608,185,970

v 評議員会、理事会等に関する事項

1 評議員会

・臨時評議員会（第 1 回）

決議日：平成 29 年 5 月 1 日（月）

議 題：①理事の選任について（可決）

②評議員の選任について（可決）

・定時評議員会（第 2 回）

決議日：平成 29 年 6 月 7 日（水）

会 場：ホテルアソシア静岡

報 告：平成 28 年度事業報告の内容報告について

議 題：①平成 28 年度決算書の承認について（可決）

②定款の一部変更について（可決）

③理事の任期満了に伴う選任の件（可決）

④監事の任期満了に伴う選任の件（可決）

⑤評議員の任期満了に伴う選任の件（可決）

・臨時評議員会（第 3 回）

決議日：平成 29 年 12 月 1 日（金）

議 題：①評議員の選任について（可決）

2 理事会

・臨時理事会（第1回）

決議日：平成29年4月26日（水）

議 題：①評議員に対しみなし決議を提案する件について（可決）

・定時理事会（第2回）

決議日：平成29年5月23日（火）

会 場：中島屋グランドホテル

議 題：①平成28年度事業報告及び附属明細書の承認について（可決）

②平成28年度決算書及び附属明細書の承認について（可決）

③運営組織及び事業活動の状況の概要等について（可決）

④定款の一部変更について（可決）

⑤定時評議員会の招集について（可決）

報 告：職務執行状況の報告について

・臨時理事会（第3回）

決議日：平成29年6月7日（水）

会 場：ホテルアソシア静岡

議 題：①理事長1名選定の件（可決）

②副理事長2名選定の件（可決）

③専務理事及び常務理事の選定の件（可決）

④中期計画の策定について（可決）

⑤マイナンバー及び個人情報の保護に関する基本規程の一部改正について（可決）

⑥法人名の変更に伴う諸規程・規則中の法人名の変更について（可決）

その他：①しずおかの恵み体感協議会への事業資金貸付について

②DMOの活動について

・臨時理事会（第4回）

決議日：平成29年9月22日（金）

議 題：①平成29年度補正予算について（可決）

②観光ボランティアガイド助成金規程の一部改正について（可決）

③事務局組織規程の一部改正について（可決）

④印章管理規程の一部改正について（可決）

・臨時理事会（第5回）

決議日：平成29年11月20日（月）

会 場：浮月楼

議 題：①平成29年度補正予算について（可決）

②文書取扱規程の一部改正について（可決）

③評議員に対しみなし決議を提案する件について（可決）

報 告：①職務執行状況の報告について

・ 定時理事会（第 6 回）

決議日：平成 30 年 3 月 20 日（火）

会 場：グランディエールブクトーカイ

議 題：①平成 29 年度補正予算について（可決）

②平成 30 年度事業計画及び収支予算について（可決）

③事務局組織規程の改正について（可決）

④職員給与規程の一部改正について（可決）

⑤専務理事の選定について（可決）

⑥事務局長の任免について（可決）

⑦支援事業選定委員会委員の選任について（可決）

⑧個人情報保護管理者の選定について（可決）

報 告：①職務執行状況の報告について

vi 一般法人法第 90 条第 4 項第 5 号に規定する体制の整備の決定及び運用状況の概要

1 体制の整備の決定新たな決定・決議はなし

2 運用状況の概要

DMO 法人化にむけて、定款の一部変更を行うとともに、平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 か年に渡る法人運営に関する中期的な事業計画及び指標等を定めた。

また、理事及び職員の業務執行に係る諸規程について見直しを行い、以下のとおり改正した。

理事会においては、理事長及び業務執行理事の職務執行の状況について報告を行った。

○諸規程の改正状況

①マイナンバー及び個人情報の保護に関する基本規程の一部改正

②個人情報の保護に関する要綱の制定

③保有個人データの開示等の請求等に関する要綱の制定

④観光ボランティアガイド助成金規程及び同助成金要綱の一部改正

⑤平成 29 年度農山漁村振興交付金事業資金貸付要綱の制定

⑥平成 29 年度農山漁村振興交付金事業資金貸付要領の制定

⑦事務局組織規程の一部改正

⑧印章管理規程の一部改正

⑨諸規程・規則中の法人名変更

⑩文章取扱規程の一部改正

⑪職員給与規程の一部改正

○危機管理及びリスク管理等に関する研修への参加状況

・ 開催日：平成 29 年 4 月 13 日（木）

内 容：当財団主催 公益法人制度改革の概要について

・ 開催日：平成 29 年 11 月 17 日（金）

内 容：静岡県中部危機管理局主催 中部地域防災連絡会

・ 開催日：平成 29 年 11 月 24 日（金）

内 容：全国公益法人協会主催 立入検査について

・ 開催日：平成 29 年 12 月 8 日（金）

内 容：全国公益法人協会主催 法人運営グレーゾーンについて

・ 開催日：平成 30 年 2 月 8 日（木）

内 容：厚生労働省主催 労働契約等解説セミナー

【監査等実施状況】

- (1) 平成 29 年 5 月 11 日（木）午前 10 時 00 分より、当財団共用第 2 会議室において
監事による決算監査を実施
- (1) 平成 30 年 1 月 11 日（木）午前 10 時 00 分より、当財団共用第 2 会議室において
静岡県 の立入検査が実施され、改善報告が必要な問題点の指摘はなかった。

【公益財団法人変更登記に関する事項】

- (1) 平成 29 年 5 月 理事及び評議員の変更登記
- (2) 平成 29 年 6 月 理事、監事及び評議員の変更登記
- (3) 平成 29 年 10 月 名称、目的及び事業の変更登記
- (4) 平成 29 年 12 月 評議員の変更登記

【行政庁への届出事項】

- (1) 平成 29 年 5 月 理事、評議員の変更届出
- (2) 平成 29 年 6 月 事業報告等に係る届出
- (3) 平成 29 年 7 月 理事、監事、評議員の変更届出
- (4) 平成 29 年 10 月 定款変更に伴う変更届出
- (5) 平成 29 年 12 月 評議員の変更届出

【役員に関する事項】

平成 29 年度における役員等の就退任の状況

区 分	年度当初	就 任	退 任	6 月末
評議員	20 名	19 名	22 名	17 名
理 事	19 名	24 名	20 名	23 名
監 事	2 名	2 名	2 名	2 名

※平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員、理事、監事は別紙名簿のとおり

公益財団法人するが企画観光局 評議員名簿

敬称略

役職名	氏 名	役 職
評 議 員	今 田 智久	静岡鉄道株式会社代表取締役社長
評 議 員	岩瀬洋一郎	しずおか信用金庫業務サポート部長
評 議 員	梅 島 毅	株式会社テレビ静岡事業局長
評 議 員	遠 藤 聡	株式会社静岡第一テレビ事業局長
評 議 員	大 井 一郎	株式会社ドリームプラザ代表取締役社長
評 議 員	大 橋 弘	株式会社静岡銀行常務執行役員・地方創生担当営業副本部長
評 議 員	加藤 滋幹	近畿日本ツーリスト株式会社静岡支店長
評 議 員	亀 山 祐次	静岡信用金庫常務理事経営相談部長
評 議 員	神 戸 重敏	静岡県文化・観光部観光交流局長
評 議 員	絹 村 真巳	株式会社スルガ銀行静岡ブロック長・静岡支店長
評 議 員	杉 浦 孝典	株式会社 JTB 中部静岡支店長
評 議 員	竹 内 圭介	株式会社静岡朝日テレビ取締役
評 議 員	中 島 一彦	静岡市観光交流文化局長
評 議 員	南 條 和義	焼津信用金庫地域貢献部長
評 議 員	原 田 雅滋	株式会社清水銀行常務執行役員支店営業部長
評 議 員	三 浦 忠司	島田信用金庫地域サポート部長
評 議 員	村 松 重治	株式会社静岡新聞社常務取締役

平成 30 年 3 月 31 日現在

公益財団法人するが企画観光局 理事・監事名簿

敬称略

役職名	氏 名	役 職
理 事 長	酒井 公夫	静岡鉄道株式会社代表取締役会長
副理事長	久保田 隆	静岡商工会議所観光・飲食部会長
副理事長	大石 剛	株式会社静岡新聞社代表取締役社長
専務理事	齋藤 誠	公益財団法人するが企画観光局専務理事
常務理事	木村 精次	公益財団法人するが企画観光局常務理事
理 事	出野 勉	富士山静岡空港株式会社代表取締役社長
理 事	岩谷 壽夫	焼津商工会議所専務理事
理 事	遠藤 修	清水港客船誘致委員会委員・アオキトランス株式会社代表取締役社長
理 事	大場 知明	静岡商工会議所専務理事
理 事	奥村 昭博	静岡県公立大学法人静岡県立大学副学長
理 事	北川 雅之	島田市産業観光部長
理 事	久保田裕之	静岡県中部地区商工会連絡協議会会長
理 事	佐久間章次	島田商工会議所専務理事
理 事	佐藤 大樹	焼津市経済産業部長
理 事	杉浦 衛	藤枝商工会議所専務理事
理 事	鈴木 洋一	株式会社エスパルスドリームフェリー代表取締役社長
理 事	辻 良典	牧之原市産業経済部長
理 事	内記 秀夫	藤枝市産業振興部商業観光局長
理 事	中村 智浩	株式会社静岡銀行地方創生部長
理 事	中山 孝宏	吉田町産業課長
理 事	府川 尚弘	静岡ツーリズムビューローディレクター
理 事	安竹 賢治	川根本町観光商工課長
理 事	和田 明久	静岡市観光交流文化局次長
監 事	西ヶ谷博行	あさひ税理士法人代表社員
監 事	吉田 雄一	吉田雄一会計事務所所長

平成 30 年 3 月 31 日現在

平成 29 年度 事業報告の附属明細書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

重要な事項については、平成 29 年度事業報告にすべて記載されているため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

公益財団法人するが企画観光局
理 事 長 酒 井 公 夫